

製品名: COX7B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09281**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	COX7B
別名	Cytochrome c oxidase subunit 7B, mitochondrial (Cytochrome c oxidase polypeptide VIIb)
遺伝子 ID	1349.0
SwissProt ID	P24311
免疫原	ヒト COX7B 由来の合成ペプチド AA 範囲: 20-100

背景

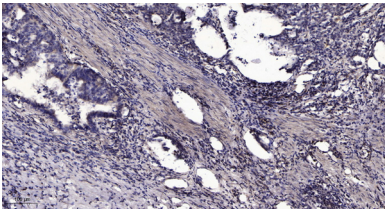
ミトコンドリア呼吸鎖の末端構成成分であるシトクロム c 酸化酵素 (COX) は、還元型シトクロム c から酸素への電子伝達を触媒します。この構成成分は、ミトコンドリア遺伝子によってコードされる 3つの触媒サブユニットと、核遺伝子によってコードされる複

数の構造サブユニットからなるヘテロ多量体複合体です。ミトコンドリアにコードされるサブユニットは電子伝達に機能し、核遺伝子にコードされるサブユニットは複合体の調節と構築に機能する可能性があります。この核遺伝子は、ウシ COX VIIb タンパク質と非常に類似したサブユニット VIIb をコードしており、あらゆる組織に存在します。この遺伝子は、染色体 1、2、20、22 に複数の疑似遺伝子を持つ可能性があります。[RefSeq 提供、2011 年 6 月]機能:このタンパク質は、ミトコンドリア電子伝達系の末端酸化酵素であるシトクロム c 酸化酵素の核コード化ポリペプチド鎖の 1 つです。類似性:シトクロム c 酸化酵素 VIIb ファミリーに属します。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45 分)。